

取扱説明書

5in1 (CVI/AHD/TVI/CVBS/IP)

防犯カメラ専用レコーダー



防犯カメラ専用ハードディスクレコーダー

もくじ

正しくご使用いただくために	P3~4
各部名称 / 機材の接続	P5
初期設定画面	P6~7
ライブ画面 / 操作パネル・メインメニュー画面	P8
1. 録画した映像を再生する	P9
2. 時刻を調整する	P10
3. アカウント内容を編集する / パスワードを変更する	P10
4. モニター解像度を変更する	P11
5. 音声記録を設定する	P11
6. 録画設定を変更する	P12
7. 録画スケジュールを変更する	P13
8. USB メモリーへ映像をバックアップする	P13
9. 動体検知アラームを設定する	P14
10. レコーダーをインターネットに接続する	P15
11. メール送信を設定する	P15
12. スマートフォンから閲覧する	P16
13. パソコンから閲覧する	P17
14. 再起動・電源を切る	P18
15. 工場出荷時に戻す	P18
16. 高度な設定	P19
巻末	P20
商品保証規定	別紙

このたびは、Standard シリーズ 防犯カメラ専用ハードディスクレコーダーをご購入いただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用いただく前にこの取扱説明書をよくお読みいただき正しくご使用ください。
また大切に保管し、必要なときお読みください。

〈おことわり〉

本機は監視映像を録画するための機器であり、事件・事故防止機器ではありません。
事件・自己等の損害につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
万一故障等が発生した場合は、お買い上げの販売店にお申し出ください。
本機は当社保証規定に基づいて保証させて頂いております。

※保証内容が記載される裏表紙は、大切に保管してください。

この「取扱説明書」では、本機をご使用になる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、お取り扱いの際に守っていただきたい事項について「シンボルマーク」で表示しています。この「シンボルマーク」の意味を十分にご理解のうえ、本取扱説明書をお読みいただくようお願い申し上げます。

正しくご使用いただくために

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに発生する危害や損害の程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告 この警告事項に反した取扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性があることを示します。	 禁止 してはいけない「禁止」内容のことです。
 注意 この注意事項に反した取扱いをすると、人が傷害または物的損害を負う可能性があることを示します。	 実行 実行しなければならない「指示」内容のことです。

重要

- レコーダーの動作中に電源を切ったり、電源アダプターのプラグを抜いたりしないでください。回復不能な損傷が発生する場合があります。
- レコーダーの電源を切る場合、正しい手順に従って、終了してください。
- 本機は、ハードディスクレコーダーです。衝撃や振動を与えてはいけません。故障や破損の原因となります。

■ 設置の際にお守りいただく内容

警告

-  屋外には設置しないでください。火災・故障の原因となります。
-  直射日光や雨の当たる場所には設置しないでください。火災・故障の原因となります。

注意

-  指定の温度・湿度範囲外の場所に設置しないでください。故障の原因となります。
-  強力な電氣的ノイズおよび電磁波のある場所に設置しないでください。誤動作や故障の原因となります。
-  本機に衝撃や振動が加わる所には設置しないでください。故障や破損の原因となります。
-  本機に腐食性ガスや粉塵がかかる場所に設置しないでください。故障や寿命を短くする原因となります。
-  磁石など、磁気を帯びた物の近くに設置しないでください。誤動作や故障の原因となります。
-  本機は熱を発生するため、風通しの良い場所に設置してください。風通しの悪い場所に設置すると、故障の原因となります。
-  本機の上にカメラ用電源装置など他の機器を設置してはいけません。
-  強度の弱い所に設置する場合は、十分な補強工事を施してから設置してください。強度不足の場所にそのまま設置すると、本機が落下するなどして、故障・けが・破損の原因となります。
-  本機に接続するカメラ・集音マイクなどとの配線に屋外配線が含まれる場合、地中配管による配線や市販の雷サージアブソーバーを接続するなどの対策をして、機器の保護を行ってください。

■ ご使用時や工事 / 保守点検の際にお守りいただく内容

警告

-  本機を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
-  通風孔などから金属、紙、その他異物を入れないでください。火災・感電の原因となります。
-  電源を入れたまま工事配線をしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
-  異音や異臭、その他故障や異常であると思われるときは、本機を使用しないでください。このような時は、電源を切り、お買い上げの販売店にお申し出ください。放置すると故障の拡大や思わぬ事故の原因となります。
-  本機に水などの液体をかけないでください。火災・感電・故障の原因となります。
-  通風孔は、ふさがないでください。内部に熱がこもり、火災・故障の原因となります。
-  雷の時は、工事配線をしないでください。落雷場所によっては、火災・感電・故障の原因となります。
-  AC100V 以外の電源電圧で使用してはいけません。また、同梱の AC/DC アダプター以外は使用しないでください。

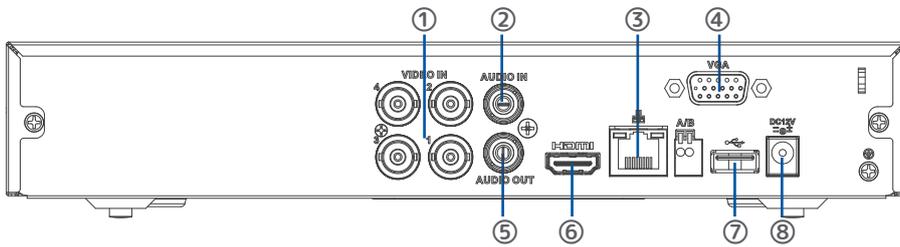
注意

-  本機はハードディスクを搭載しています。本機に衝撃や振動を与えないでください。故障や破損の原因となります。
-  ハードディスクやファンは、消耗品です。お買い上げの販売店に相談し、定期的な交換をお願いします。また、定期点検の実施をお勧めします。
-  何らかの異常にお気づきの場合、速やかにお買い上げの販売店にご相談ください。
-  プライバシー保護について
すべての人には、自己の容貌などをみだりに撮影されたり、公表されたりすることのない自由があり、プライバシーに関する権利の一つとして憲法 13 条（個人の尊重）により保障されています。集音される音声についても同様です。カメラ・マイクの設置の際は、個人のプライバシーを侵害することがないように十分にご注意ください。また、「隠し撮り」とならないよう、防犯カメラが設置されていることを表示するなどのご配慮をお願いします。
-  待機状態・電源を切ったあとも 20 秒以上は、本機を動かさないでください。
-  工事・点検の前には、金属扉などに触れて、体の静電気を除去してください。
-  本機に関する設定情報・画像・音声などの利用情報は、お客様の責任管理下にあります。お客様ならびお客様が許可する利用者以外の第三者が情報に触れることがないようにご注意ください。

1. はじめの手順

各部名称・付属品を確認

本機背面（例：4CH タイプ）

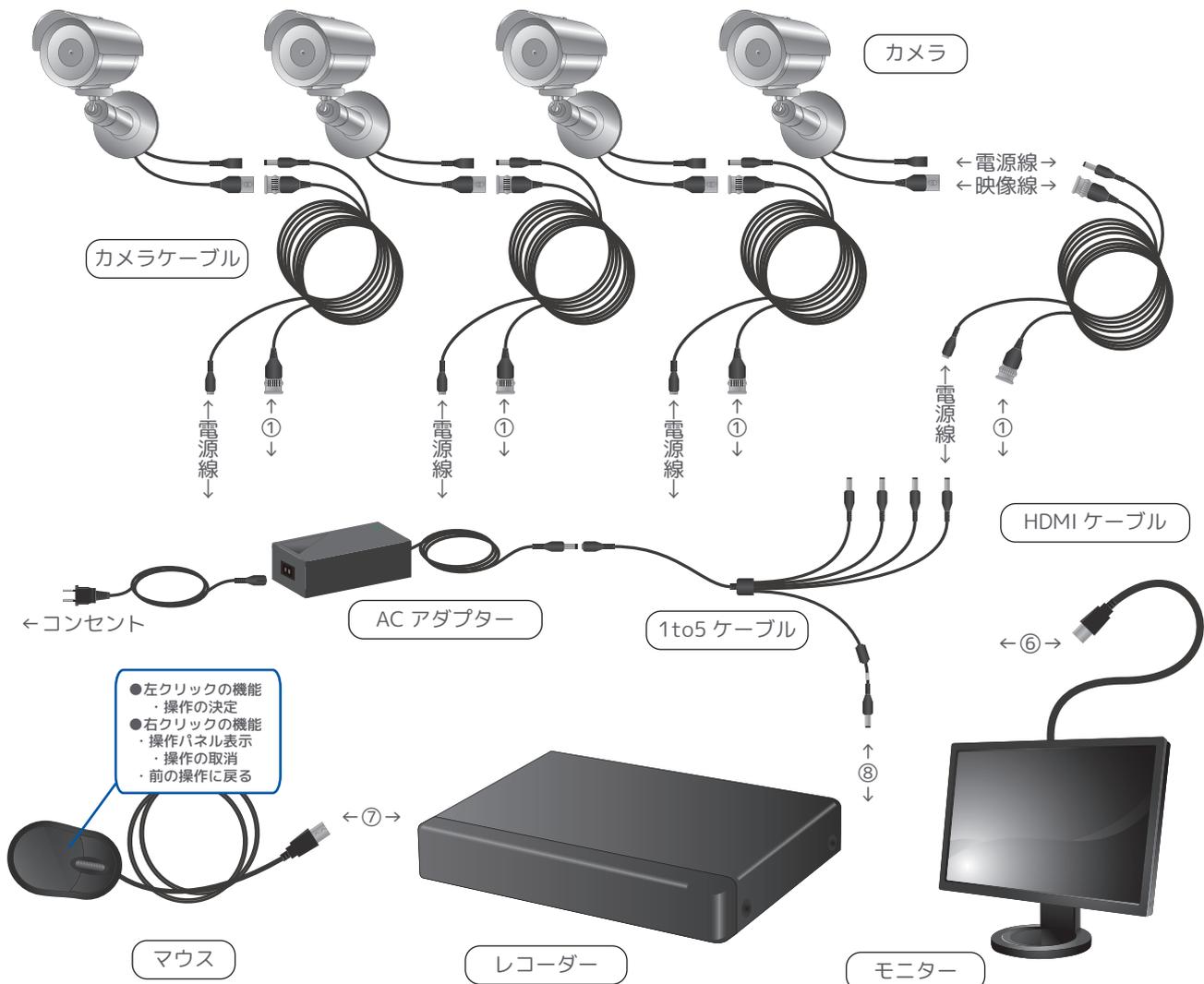


- ①映像入力 [BNC×4]
- ②音声入力 [RCA]
- ③LAN ソケット
- ④VGA 出力
- ⑤音声出力 [RCA]
- ⑥HDMI 出力
- ⑦USB ソケット
- ⑧電源入力

付属品 --- ●取扱説明書 ●AC アダプター ●USB マウス

機材の接続（背面端子を確認）

防犯カメラ 4 台キットの接続例 ※モニター、HDMI ケーブルはキットに含まれておりません



※各機器を取付・配線する前に、必ず動作確認をおこなってください。

※本機は、PC モニター出力を前提として設計されています。液晶テレビの一部には接続が認められないものがあります。映像が出力されない場合、PC 用モニターをご使用ください。

初期設定画面



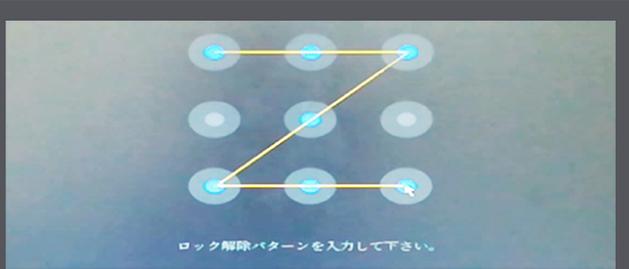
ロケーション、言語を選択します。映像規格はNTSCのままで次へ進みます。



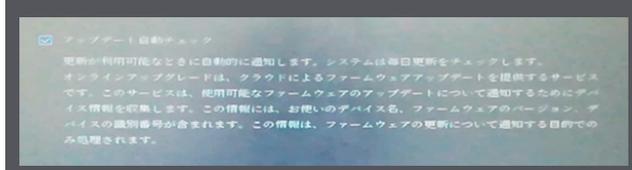
システム時間を確認し次へ進みます。
→詳細 P10



テキストパスワードを設定。確認として同様のテキストパスワードを入力し、次へ進みます。
→詳細 P10



パターンパスワードを設定し次へ進みます。



※テキストパスワード並びにパターンパスワード、各回答内容はお忘れにならないようご注意ください。

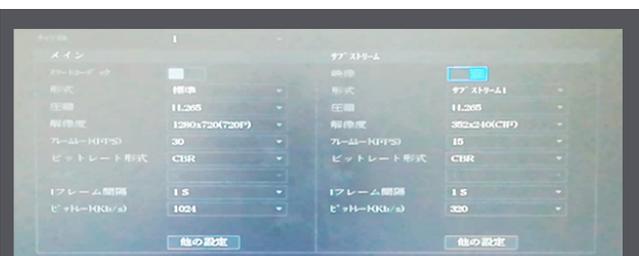
初期設定画面（続き）



各任意項目を確認し、次へ進みます。P2P（インターネット機能）を利用する場合、DHCPをONします。→詳細 P15



P2P（インターネット機能）を利用する場合、ONとし、次へ進みます。→詳細 P15



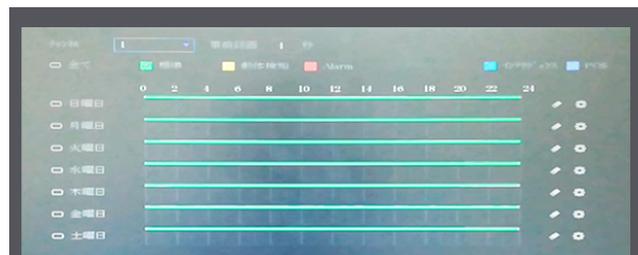
録画設定について確認し、次へ進みます。→詳細 P12



スナップショットについて確認し、次へ進みます。



HDDについて確認し、次へ進みます。



録画スケジュールについて確認し、次へ進みます。→詳細 P13



スナップショットスケジュールについて確認し、次へ進みます。



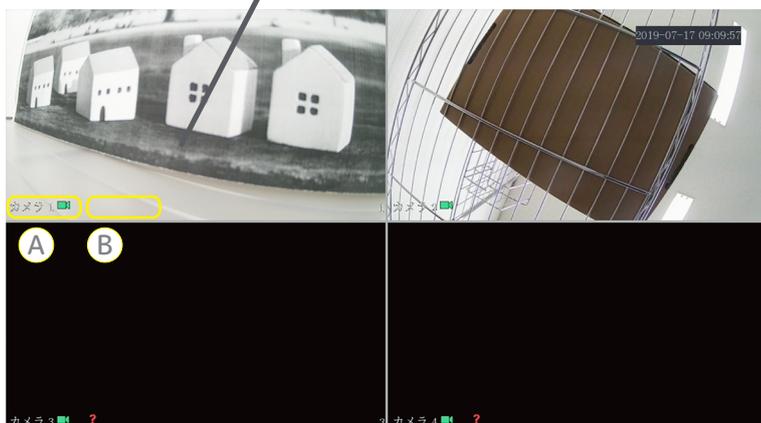
これで初期設定は完了です。必要であれば後から設定変更は可能です。

※パスワード設定値を失念した場合、製品を回収し弊社点検を実施する必要があります。

2. 操作について

ライブ画面 / 操作パネル

ライブ映像画面です。分割表示、一画面表示できます。



【操作パネル一覧】

C	🏠 メインメニュー
D	🔍 検索
E	👤 パン/チルト/ズーム
F	🖼️ ビュー 1 ▶
G	🖼️ ビュー 4
H	🔍 前画面
I	🔍 次画面
J	🔧 手動 ▶
K	🖼️ プレビューモード ▶
L	🎨 色設定
M	📷 イメージ

A--- カメラ CH 名

B--- 動体検知アイコン (検知時表示)

C--- メインメニュー

D--- 映像検索 (録画再生)

E--- PTZ 機能 /UTC 機能呼出

F--- 一画面表示

G--- 分割画面表示

H--- 前画面移動

I--- 次画面移動

J--- 録画設定

K--- 顔検出結果表示設定

L/M--- 色彩設定

メインメニュー画面



検索再生…録画映像の再生を行ないます。映像検索機能、各種機能を利用できます。

アラーム…動体検知時の挙動を設定できます。

SMART 検出…高度な検出の設定を利用できます。

POS…POS レジとの連携設定を利用できます。

バックアップ…録画データのバックアップ機能を利用できます。

ディスプレイ…表示解像度設定などを利用できます。

音声…外部音声ファイルに関する設定を行ないます。

カメラ…接続されたカメラの色彩調整、PTZ 設定、画面表示設定を利用できます。

ネットワーク…レコーダーのインターネット設定を利用できます。

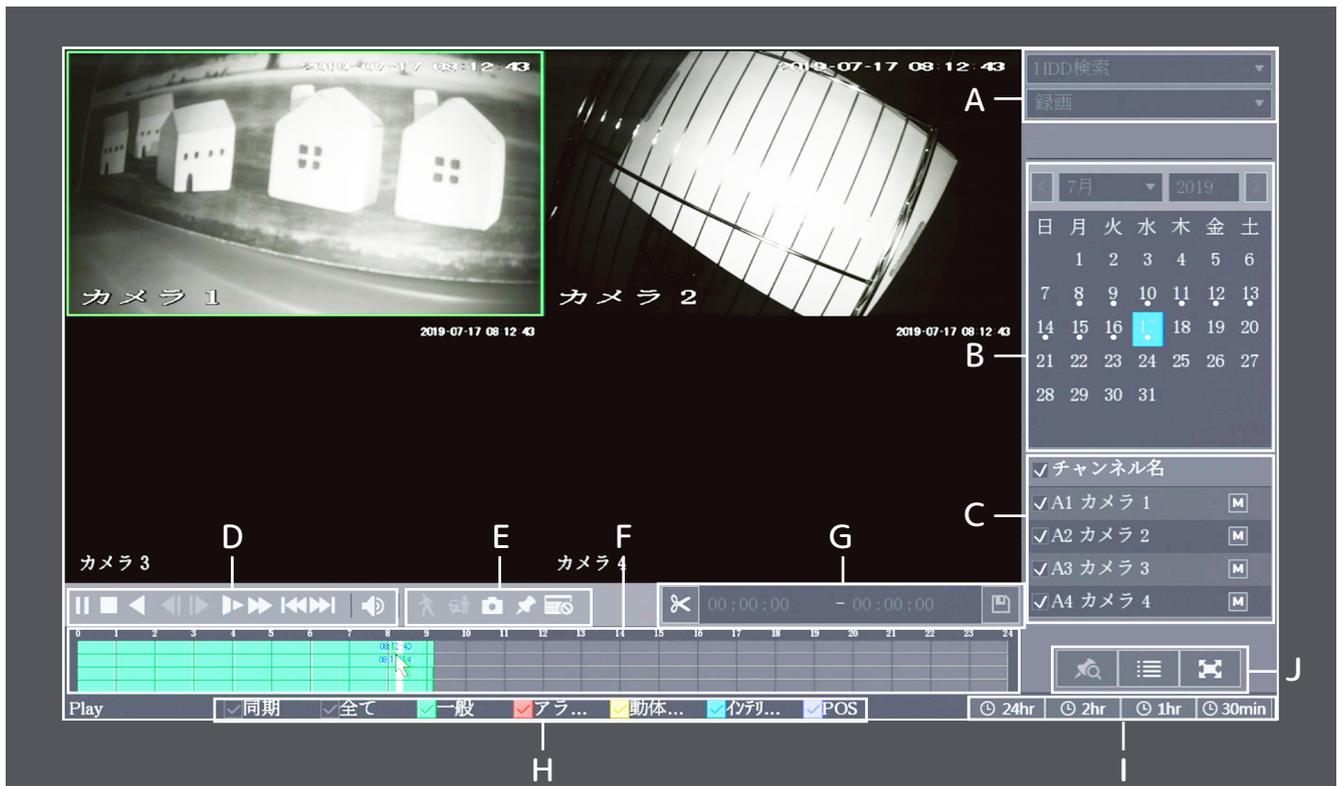
ストレージ…接続されたストレージに関する設定を利用できます。

システム…レコーダー本体のシステム設定です。

アカウント…アカウントの修正追加機能を利用できます。

情報…レコーダーのシステム情報を確認できます。

1. 録画した映像を再生する

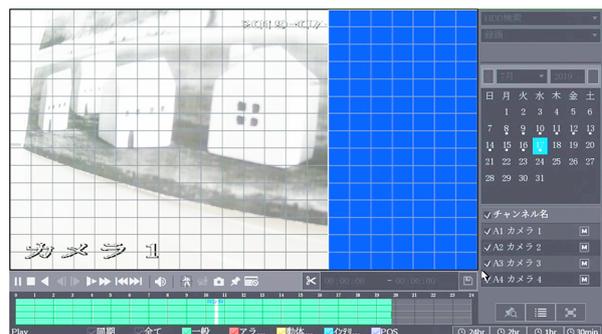


これは録画映像の再生画面です。操作パネル「検索」もしくはメインメニュー「検索再生」から表示できます。画面下部 F のタイムゲージは 24 時間を指し、緑色に塗りつぶされた箇所が再生可能地点であります。塗りつぶされた箇所をダブルクリックするとクリックされた地点から再生開始されます。この画面では B のカレンダー、F タイムゲージより 2019 年 7 月 17 日 8 時 12 分頃を再生していることがわかります。現在タイムゲージの目盛は 24 時間ですが、I 項目より目盛を変更できます。また H 項目より映像データの対象を絞り込むことができます。

【機能概要】

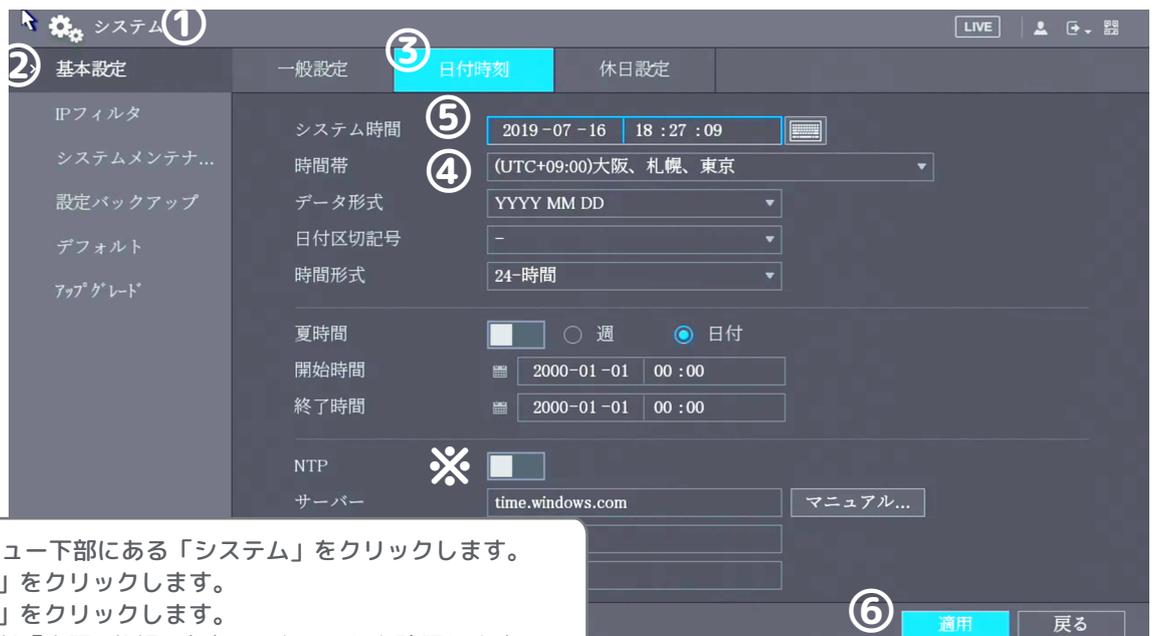
A	映像再生するストレージを選択します。
B	映像再生する曜日を選択します。
C	映像再生するチャンネルを選択します。
D	再生 / 一時停止、停止、巻き戻し、スロー送り、早送り、前日移動、翌日移動を利用できます。
E	スナップショット機能、検出対象抽出、マーク追加機能を利用できます。
F	タイムゲージです。
G	開始時間と終了時間を選択して映像カットしたのち保存できます。(要 USB メモリー)
H	映像データの絞り込みを実行できます。(要検知設定)
I	タイムゲージの目盛を変更します。
J	画面拡大機能、ロック機能を利用できます。

【動体検知されたところだけ…】



まず再生したい CH をダブルクリックで単画面表示させます。その後、E 内一番左の人型のアイコンをクリックします。すると CH 内が網目いっばいに表示されます。検知エリアを設定するためマウスカーソルを当てドラッグ & ドロップします。青く塗りつぶされた箇所が検索対象となります。そして再度 E 内人型アイコンをクリックすると自動で、検索、そして再生が開始されます。

2. 時刻を調整する



- ①メインメニュー下部にある「システム」をクリックします。
- ②「基本設定」をクリックします。
- ③「日付時刻」をクリックします。
- ④「時間帯」が「大阪、札幌、東京」であることを確認します。
- ⑤「システム時間」を調整します。
- ⑥調整が完了したら「適用」をクリックします。

※インターネットに接続している場合、定期的に時刻を補正する機能があります。利用する場合は、「NTP」を ON し、「マニュアル」をクリックします。完了したら「適用」をクリックします。

3. アカウント内容を編集する / パスワードを変更する



- ①メインメニュー下部にある「アカウント」をクリック後、「アカウント」>「ユーザー」内の鉛筆アイコンを選択する。
- ②パスワードを変更する場合は「パスワード変更」を ON する。
- ③「旧パスワード」を入力後「新パスワード」を入力する。
- ④「パスワード確認」へ入力した新パスワードを入力する。
- ⑤設定を保存するときは「OK」をクリックする。

※そのほか必要であればユーザー MAC アドレス、メールアドレス、グループ、メモを設定します。
 ※解除ボタンについても ON/OFF が可能です。セキュリティの観点から ON しておくことをおすすめ致します。
 ※操作権限についても調整が可能です。

4. モニター解像度を変更する



- ① メインメニューにある「ディスプレイ」をクリックします。
- ② 「ディスプレイ」をクリックします。
- ③ 画面下部「解像度」を適切な解像度に変更します。
- ④ 「適用」をクリックします。
- ⑤ 自動でホーム画面に戻り「解像度を変更しますか?」と表示されるので15秒以内に「はい」をクリックすると変更完了します。

※ 接続するモニターの使用条件に満たしていない解像度を選択すると、映像が表示されなくなる場合があります、ご注意ください。

※ HDMIで接続した場合、当製品の初期設定時にディスプレイ解像度が自動調整されます。

5. 音声記録を設定する



※ 集音マイク内蔵カメラまたは集音マイクをご用意ください

- ① メインメニュー下部にある「カメラ」をクリックします。
- ② 「エンコード」をクリックします。
- ③ 「エンコード」をクリックします。
- ④ 録音するCHを選択します。
- ⑤ 「他の設定」をクリックします。
- ⑥ オーディオをONします。
- ⑦ 「OK」をクリックします。

※ CVIカメラを接続する場合、音声ソース項目をHDCVIに変更します。

6. 録画設定を変更する



メインメニュー > カメラ > エンコードから設定へ入ります。設定完了後「適用」をクリックします。

	【機能概要】	【推奨設定】
A	チャンネルを設定します。	—
B	メイン / サブストリームの二種類の録画設定を適用できます。	—
C	フレーム間隔を固定し、ビットレート形式を推奨値にします。	ON
D	標準：通常録画設定、MD：動体検知録画設定、Alarm：アラーム発生時の録画設定を指します。	—
E	映像圧縮方式を選択します。最も効率の良い圧縮方式は H.265 です。	H.265
F	録画時の解像度を選択します。(●M-N)は●百万画素 HALF を意味します。	1080P
G	映像の中のコマ数 = フレームレートを選択します。この値が大きいほど映像は滑らかになります。	15
H	エンコード方式である CBR/VBR を選択します。	VBR
I	C を ON にした際に設定可能な映像品質項目です。	6
J	I フレーム間隔 1S/2S を選択します。	—
K	ビットレートを選択します。映像品質に最も関係します。	1024 kbps (約 88 日録画)

※詳細については、巻末 (P20) をご確認ください。



B で紹介するメイン / サブストリームは PC やスマホからアクセスする際に使用します。

ライブ視聴時にメインストリーム再生、もしくはサブストリーム再生を選択できます。(左画像)

本機器の初期設定だとサブストリーム解像度は 352×240 となるので、メインストリームよりも少ないデータ通信量で視聴できます。

8. 録画スケジュールを変更する



- ① メインメニュー下部にある「ストレージ」をクリックします。
- ② 「スケジュール」をクリックします。
- ③ 「録画」をクリックします。
- ④ スケジュール変更するチャンネルを選択します。
- ⑤ 録画対象を選択します。
- ⑥ マウスのドラッグ & ドロップで曜日・時間を設定します。
録画対象によって塗りつぶしの色が異なります。
一例として動体検知時のみ録画設定することが可能です。
- ⑦ 完了後「適用」をクリックします。

9. USB メモリーへ映像をバックアップする



- ① USB メモリー（別売）を本機に挿入します。
- ② メインメニューにある「バックアップ」をクリックします。
- ③ 各項目を選択・確認します。
バックアップするチャンネル・映像データの種類・バックアップ開始時間・
バックアップ終了時間・ファイル形式
- ④ 「検索」をクリックします。
- ⑤ 設定完了したら「バックアップ」をクリックします。
- ⑥ バックアップが完了したら USB メモリーを取り外して PC で映像を確認しましょう。

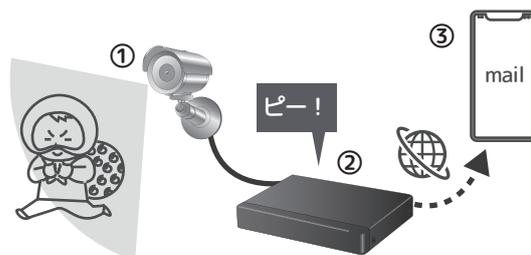
9. 動体検知アラームを設定する

メインメニュー > アラーム > ディテクト > 動体検知から設定へ入ります。設定完了後「適用」をクリックします。

【一部機能概要】

【こんな時は…】

A	チャンネルを設定します。
B	動体検知を ON/OFF します。
C	動体検知の有効時間を設定します。デフォルトは常に検知設定です。
D	動体検知時にメッセージ画面（ローカル画面にポップアップ）が表示されます。
E	イベントが発生した際に映像録画を行うチャンネルを設定します。※要スケジュール設定
F	イベントが発生した際に PTZ 操作連動で設定されている動作の有効/無効を設定します。
G	ツアー動作にて表示するチャンネルを設定します。
H	静止画保存するチャンネルを設定します。※要スケジュール設定
I	本機搭載ブザー音の出力の有効/無効を設定します。
J	動体検知領域を設定します。
K	検知開始からイベント終了までの時間を設定します。
L	設定された宛先に通知メールを送信します。 ※要メール設定
M	検知終了後の録画の遅延時間を設定します。
N	動体検知のイベントログ保存を行う場合はチェックを入れます。



Q. 動体検知した時にレコーダーのブザーを起動させたい、また同時にメールされるように設定したい。

A. 構成としては上図のようになります。
(注意) あくまでイメージです。

①まずは動体検知をレコーダーが認識しているかを確認します。本ページ機能概要 B を確認ください。動体検知を有効にします。
②次にブザー設定をします。本ページ機能概要 I を確認ください。ブザーをチェックし有効にします。
③最後にメール送信設定をします。まず本ページ機能概要 L を確認ください。メール送信をチェックし有効にします。またインターネット接続、メール送信設定も完了させます。

10. レコーダーをインターネットへ接続する



- ①本機とルーターをLANケーブルで接続します。
- ②接続が安定するまで5分待ちます。
- ③メインメニュー下部にある「ネットワーク」をクリックします。
- ④「TCP/IP」をクリックします。
- ⑤「DHCP」をONした後、10分待ちます。
- ⑥画面右下「テスト」をクリックします。
- ⑦接続テスト完了後、問題がなければ「ネットワーク状態:OK」と表示されます。
- ⑧「適用」をクリックします。

※ ルーターやLANケーブルは、本サービスに含まれておりません。

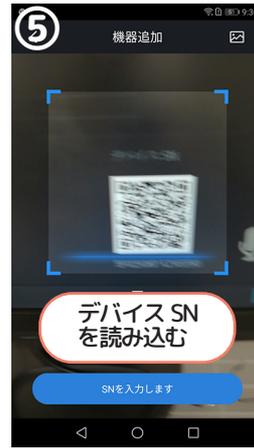
11. メール送信を設定する



- ①「レコーダーをインターネットへ接続する」、各アラーム設定を完了させておきます。
- ②メインメニュー下部にある「ネットワーク」をクリックします。
- ③「EMAIL」をクリックします。
- ④「有効」をONし、各入力項目を入力します。
なお本機は送信用メールサーバーを使用しメール送信を行ないます。
事前に送信用メールサーバー情報を用意しておきましょう。
- ⑤「テスト」をクリックします。
すると入力されたメールアドレス宛にテストメールが送信されます。
- ⑥「適用」をクリックします。

12. スマートフォンから閲覧する

1. 「レコーダーをインターネットへ接続する」を完了させておきます。レコーダーネットワーク設定内「P2P 設定」を開きます。P2P 接続を許可するため「有効」を ON します。この画面は開いたままにしておきます。



2. スマホの Play ストアまたは APP ストアにて所定のアプリをダウンロードします。

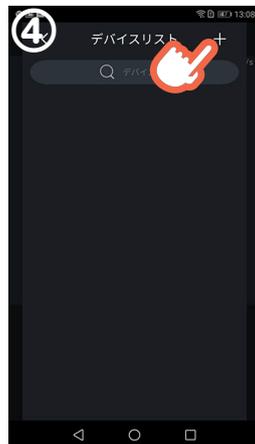
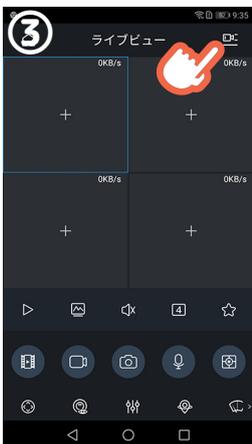
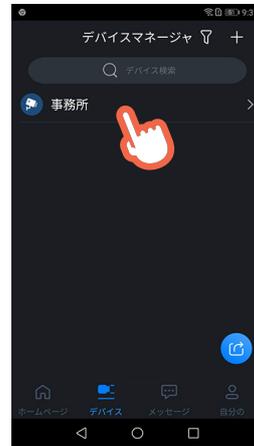
Play ストア…Android 対応アプリ ”” DMSS ””
APP ストア…iOS 対応アプリ ”” DMSS ””



3. アプリを開き、レコーダーを登録します。方法は以下手順を参考にしながらお進めください。QR コード読込時は「デバイス SN」下の QR コードを読み取ります。「P2P クライアント」下の QR コードではありません。



4. 登録完了後、ライブ視聴しましょう。



※インストール要件
Android 5.0.x ~
iOS 9.x ~

1.3. パソコンから閲覧する

1. 「レコーダーをインターネットへ接続する」を完了させておきます。レコーダーネットワーク設定内「P2P 設定」を開きます。P2P 接続を許可するため「有効」を ON します。また「デバイス SN」下の番号をメモに控えます。



2. Windows パソコンを起動後、インターネットブラウザで URL へアクセスし、PC 用 exe ファイルをダウンロード、インストールします。

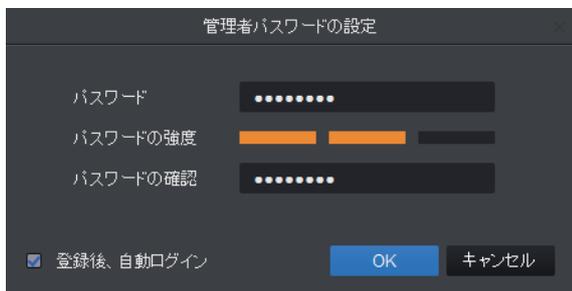
→ <http://urx.blue/xvZB>



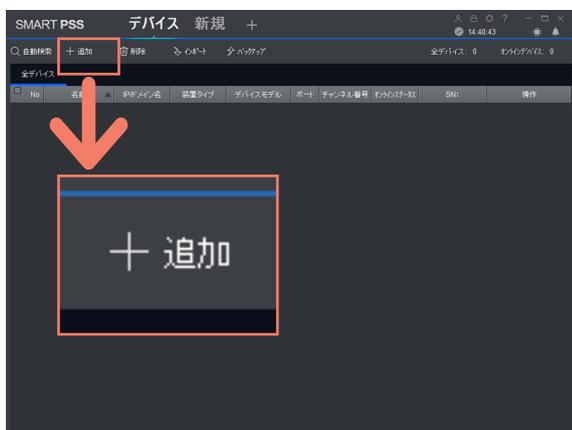
Smart PSS.exe

3. パソコン上でソフトウェアを開き、まずはソフトウェアのパスワード設定を行います。

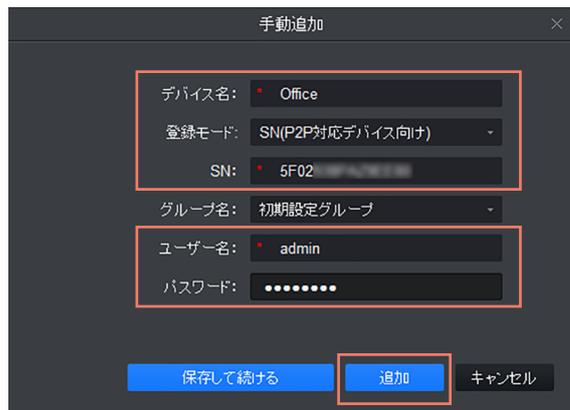
※レコーダーのパスワードではなく、あくまでソフトウェアのパスワード設定です。



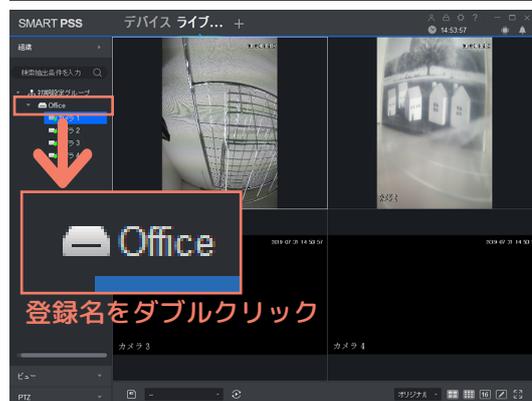
4. パスワード設定が完了したら、レコーダーを登録します。以下画面で「+追加」をクリックします。



5. デバイス名は英数字で自由に、登録モードは SN(P2P)..へ変更、SN は先ほどメモした番号を、最後のユーザー名、パスワードはレコーダーに設定された情報を入力します。完了後、「追加」をクリックします。



6. 登録完了後、以下手順に沿ってライブ視聴しましょう。



※動作確認済 OS
Windows10

14. 再起動 / 電源を切る



- ①メインメニュー上部、右から2番目のアイコンをクリックします。
- ②再起動の場合は「再起動」、電源を切る場合は「シャットダウン」をクリックします。
- ③再起動の場合は再起動が開始されます。シャットダウンの場合は「電源をオフにしてください」と表示されるのでアダプターを抜き電源を切ります。

15. 工場出荷時に戻す



- ①メインメニューにある「システム」をクリックします。
- ②「デフォルト」をクリックします。
- ③工場出荷時に戻す項目を選択します。
- ④「工場出荷時の…」をクリックします。
- ⑤表示を確認し、「OK」をクリックすると初期化が開始されます。

16. 高度な設定

SMART 検出機能 - IVS (インテリジェントビデオシステム)

SMART 検出機能では高度な検知設定を行なうことができます。IVS (インテリジェントビデオシステム) は4種類の検知設定を変更できます。なお本機能は複数のCH、トリガーを設定可能です。

設定画面：【メインメニュー】→【SMART 検出】→【パラメータ】→【IVS】
ドロワー後、トリガー設定を実施します。

【IVS 機能概要】

トリップワイヤ	定義した基準線を物体が越えた際にイベントを発生させます。
侵入検知	定義した基準領域線を物体が越えた際にイベントを発生させます。
不法投棄検知	定義した基準領域内に物体が一定時間放置された状態が継続した際にイベントを発生させます。
持出検知	定義した基準領域内に物体が一定時間存在しない状態が継続した際にイベントを発生させます。



トリップワイヤ



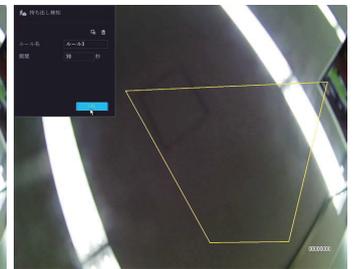
侵入検知



不法投棄検知

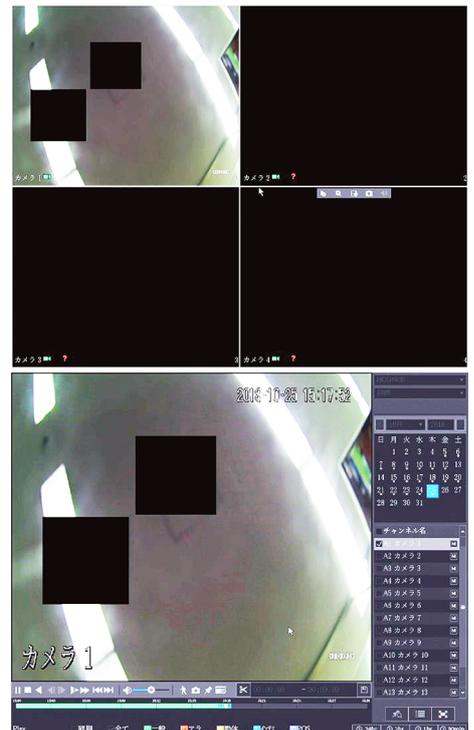
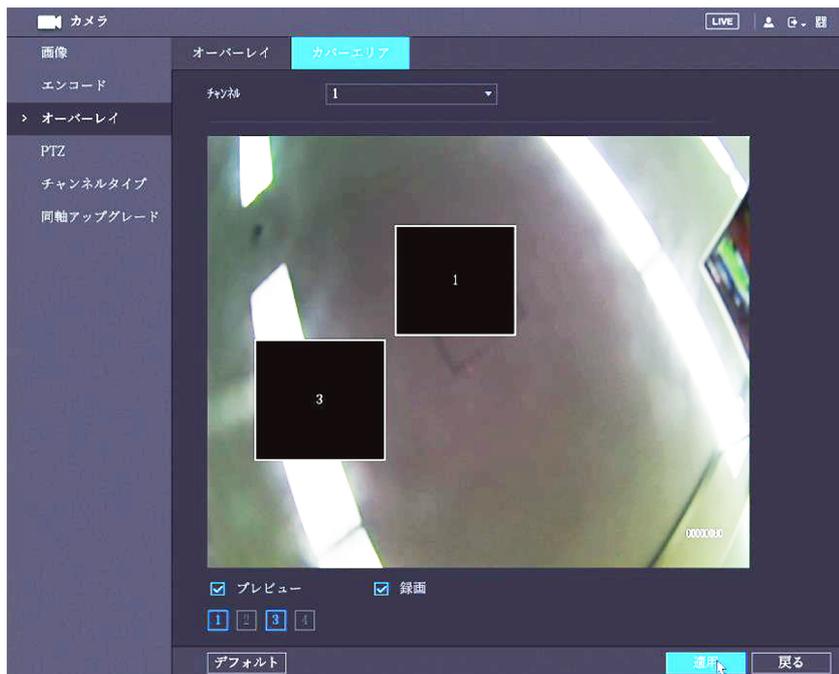


持出検知



プライバシーマスク機能

プライバシーマスク機能は、ライブ映像または録画映像に映したくない領域を黒い領域で隠す機能です。
※レコーダによっては【プレビュー】/【映像】を纏めて、「カバーエリア」と表示されている場合があります。
設定画面：【メインメニュー】→【カメラ】→【オーバーレイ】→【カバーエリア】



録画設定に関する推奨値をご説明致します。
①②の指示に従って録画設定を行いましょう。

①スマートコーデックをオンにしましょう

スマートコーデック	<input checked="" type="checkbox"/> オンにする
形式	標準（他選択不可）
圧縮	H.265
ビットレートタイプ	－（VBR）
Iフレーム間隔	－（1sec.）

②理想の録画可能時間に合わせて各設定値を調整しましょう

カメラ1台・HDD容量は1TBで24時間連続録画を行う場合				
解像度	フレームレート (FPS)	品質	ビットレート (Kb/s)	録画可能時間
1920×1080 (1080P)	15	1 (低)	256 (音声無し)	354日
			320 (音声有り)	283日
		3 (中)	512 (音声無し)	177日
			640 (音声有り)	141日
		6 (高)	1024 (音声無し)	88日
			1280 (音声有り)	70日

- ※カメラを複数台録画する場合は、日数 ÷ カメラ台数で録画可能時間を算出することができます。
- ※上書き録画を設定している場合、上書きが開始されるまでの時間の目安になります。
- ※撮影環境によって録画可能時間は変動することがあります。
- ※録画可能時間はハードディスク容量に比例します。
- ※解像度は現在主流である16:9の液晶モニターに応じた1920×1080を推奨します。
- ※弊社製マイク搭載型カメラに接続して音声記録も行う場合「音声有り」のビットレートを選択してください。

インターネット接続に関する注意点

- ※ 使用するネットワーク（回線事業者・プロバイダを含みます）やブロードバンドルータ・ADSL モデムなどの機器の状態によっては、本機との通信ができない場合があることをご理解の上でお使いください。
- ※ インターネット接続環境で使用する場合は、常時接続の環境でご使用ください。常時接続でない場合、遠隔地からインターネット経由で本機に接続できない、本機からのデータ送信、本機との通信が正常に行えないなどの原因となります。インターネット接続機器（ブロードバンドルータなど）の接続設定または動作仕様が、常時接続であることをご確認ください。
- ※ 遠隔地からインターネット経由で本機にアクセスするためには、本機設置側のインターネット回線にグローバル IP アドレスが必要な場合がございます。ケーブルインターネットなどの一部のプロバイダでは、プライベート IP アドレスが割り当てられる場合があります。ご契約のプロバイダがグローバル IP アドレスを提供していることをご確認ください。
- ※ 本機に登録されている管理者権限のユーザ ID・パスワードは必ず変更しましょう。初期値のまま使用すると、不正なアクセスによる画像・音声・情報の閲覧、漏洩に繋がる恐れがあります。

商品保証規定

この商品保証規定は、記載内容の範囲で弊社商品（以下、本商品といたします）を無料修理、または交換することを約束するものです。

- ご注文番号が不明な場合は、有料修理とさせていただきます。
- 保証期間はご購入日より1年間です。

注意書、取扱説明書等に従った使用方法（以下、正常なご使用状態といたします）で保証期間内に故障した場合は、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換致します。

保証の対象となるのは本商品の本体部分のみです。ソフトウェア、付属品、消耗品、関連するデータ等は保証の対象とはなりません。

1. 保証対象外

- ・落下・衝撃等、本商品のお取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
- ・工事、使用上の誤り、不当な改造による故障もしくは損傷の場合
- ・火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
- ・接続時の不備に起因する故障もしくは損傷の場合
- ・接続している他社製品に起因する故障もしくは損傷の場合
- ・正常なご使用状態に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
- ・消耗品、付属品に起因する故障もしくは損傷の場合
- ・合理的使用方法に反するお取扱い、またはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
- ・その他弊社が保証対象外と判断した場合

2. 修理

- ・本商品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
- ・弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
- ・弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本商品、もしくはその部品は弊社にて適宜処分しますので、お客様にはお返し致しません。

3. 免責

- ・本商品の正常なご使用状態以外で生じたお客様の直接、間接の損害につきましては、弊社は一切の責任を負いません。
- ・本商品の故障もしくは使用によって生じた関連する保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。
- ・本商品に隠れた瑕疵があった場合、弊社は無償にて当該瑕疵を修理、または瑕疵のない商品か同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

4. 保証有効範囲

- ・この商品保証規定は、日本国内で使用される場合に限り有効です。（Our company provide s the service under this warranty only in Japan.）
- ・弊社は出張修理を行っておりません。持込・配送修理のみ対応しております。

※ この保証書は記載内容の範囲で無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店、又は弊社営業所にお問合わせ下さい。

製品保証書		お名前
※保証期間	ご購入日 年 月 日 より 1年間	ご住所
製品型番		ご購入店所在地
※製造番号 シリアルNO.		

2023.04 外観、及び仕様については改良のために予告なく変更することがあります。